

上益城郡教科等研究会（中学校総合的な学習の時間部会）

平成30年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

生徒が主体的・創造的・協同的に取り組むことができる探究活動の在り方
～生徒一人ひとりが輝く「分かる・できる」「楽しい」授業づくりを通して～

2 研究経過

期日	人数	活動内容	場所
5/29 (火)	10	研究テーマ・計画・組織等協議 (半日)	甲佐中学校
8/8 (火)	8	①農業体験・施設見学 ②食の名人さんによる郷土料理体験 (一日)	清和小学校 JA選果場他
10/23(火)	10	研究授業・授業研究会 単元名：「上級学校説明会」 授業者：教諭 寺田亜紀子 3年部職員 (半日)	矢部中学校
1/29 (火)	10	研究のまとめ（実践レポート研修） (半日)	御船中学校

3 研究の概要

(1) 研究の内容

これまで本部会では、総合的な学習の時間の目標に焦点を当て、「生徒が主体的・創造的・協同的に取り組むことができる探究活動の在り方」を、研究テーマに設定して取り組んできている。また、学習指導要領では、体験したことや収集した情報を、言語により分析したりまとめたりすることを、問題の解決や探究活動の過程に適切に位置付けることの大切さを述べている。本部会では、このような言語活動を計画的に設定し、「分かる・できる」「楽しい」という学習への満足感を高めることをめざし、副題に取り入れて研究を推進していくこととした。

① 学習指導要領趣旨理解の研修

本年度も、部会員の構成が大きく代わったため、学習指導要領の改訂の趣旨や要点・目標・内容に関する改善点と学習指導の展開例を確認するとともに、次期学習指導要領の方向性について研修を実施した。

学習指導要領の改訂の趣旨や要点・目標・内容に関する改善点については、学習指導要領から必要な内容を抜粋して、開設当初からの流れと課題点に対する具体的な改善点を確認した。

具体的な学習指導の展開では、「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開（中学校編）」を使って、以下のことについて協議した。

ア 探究的な学習 イ 協同的な学習 ウ 体験活動の重視 エ 言語活動の充実
オ 評価の観点・方法

② 単元計画作成と探究的な活動の「整理・分析」段階の演習

各学校の単元計画作成状況を確認し、各学校で本年度作成してもらう単元の見通しを持ってもらった。探究的な学習活動や協同的な学習活動については、具体的な活動や活動上の課題点を出し合い、自分の学校の状況と比較してもらい、課題解決を行った。

探究的な活動の演習では、「整理・分析」段階でどのような活動ができるのか、どのような対話、アドバイスによって学習が深まるのかを全員で考えた。グラフ化、ベン図、座標軸、ブレインライティング、ピフォー・アフターなどの技法を学ぶことができた。

③ 農業体験と施設見学、食の名人さんによる郷土料理体験（小学校部会と共同開催）

ア 農業体験と施設見学

JAかみましきトマト選果場での見学とトマト生産農場での作業体験を実施した。トマト選果場では、人の目による1次選別、光センサーによる2次選別、箱詰の様子を見学した。その中で、JAかみましきの方に会員からの質問に答えてもらった。一日の処理能力や取扱

高、現在の主な品種等について質問がでた。

その後、近くのトマト生産農家の高橋さんの農場に移動して、トマトの収穫体験を行った。ミツバチでの受粉を行っていることや栽培品種についての説明を受け、品種の違いを食べ比べさせていただいた。体験の様子と感想は以下の通りである。



【選果場での見学】



【選果場のトマト】



【収穫体験の様子】

集荷・選果の作業の工程を見て、機械化が進んでいるが人の目とあわせて行っていたことに驚いた。トマトの収穫では、探すのが楽しかったが、長時間作業をすると大変だと思った。生徒たちも身近なトマトでたくさんのが学べると思った。

イ 郷土料理体験

上益城郡の食の名人堀住キミ子さんのご指導の下、郷土料理体験を実施した。まず、郷土料理について、「旬の物を料理すること」「身近で採れる物を使うこと」などの話があった。

身支度を調べて調理室に移動し、本日作る「トマトのじゅーしーカツ」「夏野菜入り餃子」「ガスパッチョ」のメニューの発表と作り方の説明があった。6班に分かれそれぞれが率先して、料理作りを行った。

【 郷土料理の説明 】

料理作りを進めていく中で、「どのトマトをガスパッチョに使ったら良いのか」「トマトのじゅーしーカツのトマトの大きさはどのくらいにしようか」など先生方から多くの質問が出され、堀住キミ子さんは的確に答えられ作業もスムーズに進み、先生方も楽しみながら料理をされていた。



【調理の様子】



【できあがった料理】



【質疑応答】

料理が完成し、参加者全員で会食した。会員の感想は、以下の通りである。

トマトを使った料理の中で、「トマトのカツ」はとても楽しみでした。甘みが増し、おいしかったです。「ガスパッチョ」は大好評で、さっぱりとした味わいがさわやかで冷やして飲むべきスープだと思いました。料理作りも楽しかったですが、何よりも地域の方との交流が楽しかったです。勉強になりました。

(2) 成果と課題

成果

- ・新学習指導要領の先行実施により、全体計画の考え方や様式が大きく変わったことをふまえて、各校での全体計画の作成が行われた。
- ・地域の産業の様子を見学したことで「地域の気候や土地の特性に適応した農業」「農家の収入や選果場の運営」など生徒が誇りに思える産業であることを知ることができた。また、地域の農業に関わる人たちと直接交流することで、学校での地域学習の足がかりを得ることができた。

- ・食の名人さんと共に料理をすることで地域の方との交流ができるなど、地域の方々が子ども達の教育のために何か尽力したいという思いを知ることができた。
- ・J Aや上益城地域振興局との連絡の取り方を知る機会になり、各学校で地域人材の活用のモデルとすることができた。
- ・総合的な学習の時間の進め方に見通しを持つことができ、探究的な活動の流れをつかむことができた。

課題

- ・新学習指導要領の目標と内容を網羅しながら、単元計画を見直す必要がある。
- ・どの学校も固定化された総合的な学習の時間の計画や体験学習になっている。担当者が代わると活動が元に戻ってしまう。地域学習の連続性・発展性がもてない。
- ・学習単元計画の完全作成と年間計画にリンクさせた探究的な学習の展開を計画段階として完成させる必要がある。
- ・何を学ぶのか、何ができるようになったのかなど子ども達の自己評価、相互評価、教師側の評価についても計画的・継続的に実施する必要がある。

4 実践事例

(1) 授業研究会の概要

単元名「上級学校説明会」 授業者：矢部中学校 教諭 寺田亜紀子 3年部職員

本授業は、3年生の進路学習「情報収集・まとめ・表現」の授業であった。

① 自評

- ・本校の3年生の進路学習では、1年次に先輩から話を聞き、上級学校について調べまとめていく学習「職業調べ」「高校切り抜きパンフレット作り」「先輩に学ぶ」、2年次にも上級学校説明会に参加して今後の進路を考えていく学習「進路適性検査」「高校調べ」、3年次の1学期に「高校体験入学」を行ってきた。今回は、その進路学習の積み重ねの上に行った。
- ・ねらいを、社会において果たす自己の役割を自覚し、主体的に進路の決定を行うための情報を得ることと「上級学校説明会」の運営、進行、参加することで、礼儀やマナー、リーダー性、コミュニケーション能力を向上させることとした。運営についてはそのねらいを達成するためにどうしたらよいか考えさせながら、事前に生徒たちが考えた役割分担や進行内容で行っていった。

② 質疑応答

Q：会場設営について、隊列や説明場所について改善が必要ではないか。

A：備え付けのスクリーンを使用したのでこのような形になった。

Q：説明会が始まる前に生徒がみんなに挨拶の練習をさせたり声かけをしたりしていた。また、説明会中も生徒たちの聞く姿勢や質問・感想・謝辞などがすばらしかったが、どのようにしてひきだしていったか。

A：事前に学級や担当の人たちと協議を行った。教師からの指示ではなく、課題解決のためにどうしたらよいか生徒たちの意見を吸い上げ合意形成していったことがよかったのではないかと思う。

Q：上級学校が説明されたことは生徒たちの聞きたいことと一致していたか。また、事前にアンケートをとったり、事前打ち合わせの時に中学校側の要望を言ったりしたか。

A：生徒たちの聞きたかったことは、部活やどのような生活を送っているのか、具体的な学校生活をイメージすることだったと思う。さらに、どんなことを学校側は望んでいるのかを聞いたことは、これから進路選択していく生徒たちの指針になったと思う。事前アンケートを行い、それを元に各学校に内容の構成をお願いするなど行った方がもっと生徒たちのニーズにそう形になると思うので、今後考えていきたい。

Q：「山都学」と指導案に書いてあるが興味がある。説明をしてもらいたい。

A：「山都学」とは「山都町の地域学習」のこと。1年次で地域のことをもっと知るために「地域調べ学習」、2年次で山都町の働く人に学ぶ「職場体験学習」、3年次で育ててくれた山都町に貢献するために行う「地域体験学習」と系統立てて行っている。3年間で「山都町について学ぶ」「山都町から学ぶ」ということを強調したくて生徒たちが名称を考えた。

(2) 学習指導案

3 単元の目標

- 社会において果たす自己の役割を自覚し、主体的に進路の決定を行うための情報を得ることができる。
- 「上級学校説明会」の運営、進行、参加することで、礼儀やマナー、リーダー性、コミュニケーション能力を向上させる。

4 単元の評価計画 (5時間扱い 本時2、3/5)

次	時	学 習 内 容	評価基準及び観点
1	1	○「上級学級説明会」の運営と進行の準備をする。 ・司会、案内、謝辞、資料係等役割分担をする。	・グループ分け、役割分担(知) ・話し合い活動の仕方(知) ・先を見通した思考力、企画力(思)
2	2	○「上級学級説明会」の運営と進行をする。 ・司会、案内、謝辞、資料係等をする。 ○各高等学校の説明を聞く。あれば、質問等を行い、得た情報を整理する。 ・情報を整理し、各高等学校の説明への感想をまとめる。	・場面に応じたリーダー性、司会(意) ・自分の考えや学びを伝え合う力(表) ・情報収集力、情報選択力、情報分析・考察力、まとめ(思) ・自分を見つめ、自らを向上させていく力(意)
3	2	○「上級学級説明会」の運営と進行をする。 ・司会、案内、謝辞、資料係等をする。 ○各高等学校の説明を聞く。あれば、質問等を行い、得た情報を整理する。 ・情報を整理し、各高等学校の説明への感想をまとめる。	・場面に応じたリーダー性、司会(意) ・自分の考えや学びを伝え合う力(表) ・情報収集力、情報選択力、情報分析・考察力、まとめ(思) ・自分を見つめ、自らを向上させていく力(意)

5 本時の学習

(1) 目標

- 「上級学校説明会」に参加することで、自分の役割をはたすことができる。また、説明から自分に必要な情報を得ることができる。

(2) 展開

学習過程(分)	学 習 活 動	形態	指導上の留意点及び評価 《 》：評価方法	備 考
導入 (1)	1 必要な道具を持って、会場に行く。 クリップボード、筆記用具	一斉	・担当生徒に整列させる。 ・担当生徒に記録用紙の配布をさせる	記録用紙 PJ PC
展開 (1) (20) (8) (20)	2 開会 3 熊本県立済々黌高等学校の説明を聞く。 ・各担当の仕事を行う。 ・集中して説明を聞く。 4 次の説明の準備をする。 5 熊本県立御船高等学校の説明を聞く。 ・各担当の仕事を行う。 ・集中して説明を聞く。	一斉	・貴重な時間であることを自覚し、有意義な時間となるよう助言する。 ・資料配付、案内、司会、謝辞等分担の仕事を行えるよう支援する。 ・説明が終わり次第、次の高校の担当は移動を開始するよう見守る。 ・分担した役割を確実に準備していることを確認する。 ・資料配付、案内、司会、謝辞等分担の仕事を行えるよう支援する。 ・説明が終わり次第、次の高校の担当は移動を開始するよう見守る。 B：自分の役割をはたすことができる。また、説明から自分に必要な情報を得ることができる。 ●：記録から必要な情報を個別に確認する。 《行動観察、ワークシート》	
まとめ (次時)	6 閉会 7 教室に帰り、記録と資料の整理をする。		・貴重な時間であることを自覚し、有意義な時間となったか問いかける。 ・資料はクリアブックへ、記録はまとめて提出するよう指示する。	